

表2 助産師国家試験出題基準別に見た出題テーマ(第105回助産師国家試験問題)

注1) 2択問題は、回答2つ(問題番号赤字)

大項目	中項目	小項目	午前問題			午後問題			
			番号	出題テーマ	タキソノミー	番号	出題テーマ	タキソノミー	
<b>【基礎助産学Ⅰ】</b>									
<b>目標Ⅰ. 助産の基本となる概念と変遷、基本姿勢について基本的な理解を問う。</b>									
1.助産の基本	A.助産・助産師の定義	a	保健師助産師看護師法				1	助産師への名称変更	I
		b	世界保健機関<WHO>						
		c	国際助産師連盟<ICM>						
	B.助産師の役割と責務	a	保健師助産師看護師法に基づく義務						
		b	医療法に基づく業務						
		c	コア・コンピテンシー、助産師の声明						
		d	守秘義務						
		e	助産師の業務範囲と臨時応急の手当て						
	C.助産における倫理	a	性と生殖に関する生命倫理						
		b	助産師の倫理綱領						
	D.助産における基本的な概念	a	対象の権利の尊重						
		b	女性を中心としたケア<Women-centered care>						
		c	家族を中心としたケア<Family-centered care>						
		d	リプロダクティブ・ヘルス/ライツ						
e		エビデンスに基づいた助産活動							
E.日本・諸外国の助産・助産師の変遷	a	助産の場							
	b	助産の担い手							
	c	助産師教育							
		d	母子健康手帳				18	便色カードの追加の年度	I
<b>目標Ⅱ. 女性の健康に関する支援のための基本的な理解を問う。</b>									
2.女性のライフサイクルと健康課題への支援	A.思春期・成熟期女性に特有な健康課題	a	性器の奇形・異常						
		b	やせ、肥満						
		c	初経(早発月経、遅発月経)						
		d	月経周期の異常(月経不順、稀発月経、無月経)						
		e	体重減少性無月経						
		f	月経困難症						
		g	月経前症候群・月経前不快気分障害<PMDD>						
		h	過多月経、過少月経						
		i	多嚢胞性卵巣症候群<PCOS>						
	B.更年期女性に特有な健康課題	a	閉経、更年期障害	26	ホルモン補充療法の禁忌	I	36	初回面接時の情報収集項目	II
		b	脂質異常症、糖尿病						
		c	虚血性心疾患						
		d	メタボリックシンドローム						
	C.老年期女性に特有な健康課題	a	萎縮性膀胱炎						
		b	排尿障害、尿失禁、過活動膀胱						
		c	骨盤臓器脱						
		d	骨粗鬆症、フレイル						
		e	認知症、抑うつ						
D.就業女性に特有な健康課題	a	ライフプランを考慮した健康							
	b	ワーク・ライフ・バランス							
E.女性への暴力と健康課題	a	ドメスティック・バイオレンス<DV>							
	b	性暴力							
	c	セクシュアル・ハラスメント							
3.女性の健康に影響を及ぼす因子	A.遺伝	a	常染色体遺伝とその異常						
		b	性染色体遺伝とその異常						
	B.食事と栄養	a	食生活指針、食生活の習慣						
		b	栄養所要量						
		c	栄養状態の評価法						
		d	有害物質の摂取						
	C.物理・化学的環境	a	放射線、電磁波	2	放射線被ばくの時期と胎児への影響	I			
		b	大気汚染						
		c	環境汚染物質と環境ホルモン						
	D.嗜好、薬物	a	喫煙				2	周産期にもたらすリスク	I
		b	飲酒、アルコール依存						
		c	薬物(薬物乱用、薬物依存)						
E.運動	a	エネルギー不足							
	b	過活動							
4.性と生殖に関する解剖と生理	A.内性器、外性器	a	内性器・外性器の構造と機能						
		b	神経の構造						
		c	血管の構造						
	B.骨盤、骨盤内臓器	a	骨盤の構造						
		b	骨盤内臓器と支持組織	35 -2.4	骨盤隔膜を形成する筋	I			
		c	骨盤内臓器の神経・血管支配						
	C.性周期	a	制御するホルモン						
		b	生殖器の変化						
		c	心身に与える影響						
5.性の機能と行動	A.性の分化と発達	a	性分化の仕組み				23	胎児期の性器形成	I
		b	ジェンダー・アイデンティティ						
		c	セクシュアリティの発達						
	B.性行動	a	性反応						
		b	性機能と障害						
6.女性生殖器と乳房の疾患	A.子宮と付属器の疾患	a	子宮腫瘍(がん、肉腫、子宮筋腫、子宮腺筋症、ポリープ)						
		b	卵巣腫瘍(がん、卵巣嚢腫)						
		c	子宮内膜症						
	B.乳房疾患	a	乳癌						
		b	乳腺症						
	C.検査法	a	基本的な診察(視診、触診、腔鏡診、内診)						
		b	子宮頸部細胞診(パップスメアテスト)						
		c	腔分泌物等を用いた検査(鏡検、培養)						

大項目	中項目	小項目	午前問題			午後問題		
			番号	出題テーマ	タキソミー	番号	出題テーマ	タキソミー
		d						
		e						
<b>目標Ⅲ. リプロダクティブ・ヘルスに関する支援のための基本的な理解を問う。</b>								
7.家族計画と受胎調節法	A.家族計画に関する基礎的知識	a						
		b						
		c						
		d						
		e	3	受胎調節実地指導員の規定	I			
		f						
	※a～gの共通の中項目 B.各受胎調節法の特徴や効果 C.指導における留意点	a						
		b						
		c				38	更年期のピル服用相談	Ⅲ
		d						
		e						
		f						
		g						
8.婦人科の炎症性疾患	※a～eの共通の中項目 A.病態 B.診断 C.治療 D.予防	a						
		b						
		c						
		d						
		e						
9.性感染症<STI>	※a～jの共通の中項目 A.病態 B.診断 C.治療 D.予防	a				3	分娩様式の選択	I'
		b						
		c						
		d						
		e						
		f						
		g						
		h						
		i						
		j						
		10.不妊症・不育症	A.女性側の要因の病態、診断と治療	a				
b	34 -1.5			卵管性不妊の原因となる性感染症	I			
c								
d								
e								
f								
g								
B.男性側の要因の病態、診断と治療	a					4	精子濃度の基準値	I
	b							
	c							
C.不妊症・不育症の女性への支援	a							
	b		53	不妊相談の対応	Ⅲ			
	d					29 -1.5	卵巣過剰刺激症候群のリスク因子	I
e								
f								
g								
11.出生前診断	A.出生前診断の基本的な考え方	a						
		b						
	B.出生前検査の方法に関する基礎	a						
		b						
		c						
		d						
		e	5	先天性心疾患の出生前診断の方法	Ⅱ			
		f						
		g						
<b>【基礎助産学Ⅱ】</b>								
<b>目標Ⅰ. 妊娠による女性の変化や正常な妊娠・分娩・産褥の経過及び正常な新生児の経過や乳幼児の成長・発達における特徴について基本的な理解を問う。</b>								
1.妊娠	A.妊娠の成立	a						
		b	6	着床に適した子宮内膜の時期	I			
		c						
		d						
		e						
		f						
B.妊娠の維持機構	a				5	hPLの抗インスリン作用	I	
	b							
2.妊娠による母体の変化	A.生殖器の変化	a						
		b						
		c						
		d						
	B.全身の変化	a						
		b						
		c				30-1	心拍出量の増加	I
		d				30-2	機能的残気量の減少	I
		e						
		f						

大項目	中項目	小項目	午前問題			午後問題			
			番号	出題テーマ	タキソミー	番号	出題テーマ	タキソミー	
		g 泌尿器系	24	妊娠による泌尿器系の変化	I				
		h 運動器系							
	C.免疫能の特性	a 胎児の免疫学的機能							
		b 母体-胎児間の免疫							
3.妊娠中の栄養	A.母体の健康と胎児の発育	a 妊娠中の栄養所要量							
		b ビタミン・鉄・葉酸・カルシウムの過不足							
		c 母体低栄養							
		d 栄養過剰摂取							
		e 非妊時の体格(やせ、肥満)							
		f 喫煙							
		g 飲酒							
		h 嗜好品							
		i 成人病胎児期発症説<DOHaD>							
		B.母体の栄養と妊娠合併症	a 妊娠糖尿病、糖尿病合併妊娠						
			b 妊娠高血圧症候群						
4.胎児	A.胎児の発育	a 妊卵<胚>、胎芽、胎児							
		b 胎児の形態と発育							
	B.臓器の成熟と器官形成期	a 神経・運動器系							
		b 感覚器系							
		c 循環器系							
		d 血液・造血器系							
		e 免疫系							
		f 呼吸器系	7	肺水の組成	I				
		g 消化器系							
		h 内分泌系、代謝系							
		i 泌尿器系、生殖器系							
5.胎児付属物	A.卵膜の構造と機能	a 羊膜、絨毛膜、脱落膜	8	羊水の産生・吸収	I				
		b 母体由来、胎児由来							
	B.羊水の生成と機能	a 羊水の生成過程・成分							
		b 羊水の機能				6	胎児の運動空間確保の役割	I	
	C.臍帯の構造と機能	a 臍帯血管、臍帯血							
		b 臍帯の形状							
	D.胎盤の構造と機能	a 胎盤の形成と構造							
		b 胎盤の発育							
		c 胎児-胎盤系循環							
		d 物質の胎盤通過性							
	6.分娩の基礎	A.分娩に関する定義	a 分娩開始の定義						
b 分娩第1期から第4期の定義									
c 妊娠期間による分娩の法的・産科学的定義									
d 分娩様式、分娩体位									
e 分娩誘発、分娩促進									
f 無痛分娩									
B.分娩の三要素		a 胎児と胎児付属物							
		b 産道							
		c 娩出力							
		a 身体的発育							
		b 成熟徴候							
7.新生児の特徴	B.生理的特徴	a 神経・運動器系							
		b 感覚器系							
		c 循環器系							
		d 血液・造血器系							
		e 免疫系							
		f 呼吸器系							
	j 体温調節					31-4	代謝性アシドーシスによる低体温	I	
						31-5	体表面積の大きさによる熱喪失	I	
		C.行動上の特徴	a 睡眠と覚醒						
			b 哺乳						
			c 母子の相互作用						
8.乳幼児の特徴	B.生理的特徴	a 神経・運動器系							
		b 感覚器系							
		c 循環器系							
		d 免疫系							
		e 呼吸器系							
		f 消化器系							
		g 内分泌系、代謝系							
		h 泌尿器系							
	C.心理・社会的特徴と行動上の特徴	a 精神発達							
		b 生活習慣・行動							
		c 食事と栄養							
d 予防接種									
9.妊娠・分娩・産褥と薬物	A.薬物の作用と母子への影響	a 子宮収縮薬							
		b 子宮収縮抑制薬							
		c 麻酔薬							
		d 薬物の催奇形性							
		e 薬物の胎盤通過性							
	B.授乳期の薬物摂取と母子への影響	a 薬物の母乳移行							
		b 乳汁分泌に影響する薬物				7	乳汁分泌抑制薬使用の禁忌	I	
<b>【助産診断・技術学Ⅰ】</b>									
<b>目標Ⅰ. 女性や家族の健康課題の解決、健康の保持・増進に必要な相談・教育について基本的な理解を問う。</b>									
		a 対象理解							



大項目	中項目	小項目	午前問題			午後問題		
			番号	出題テーマ	タキソミー	番号	出題テーマ	タキソミー
1.相談・教育活動の基本	A.相談・教育の基礎	b	成人教育における留意点					
		c	問題解決プロセス					
		d	女性を中心にしたケア<Woman-centered care>					
		e	セルフケア					
		f	エンパワメント					
		g	意思決定支援					
		a	計画立案					
	B.相談・教育活動の過程	b	実施評価	43	産痛緩和法の評価項目	I'		
		c	教材・媒体の工夫	42	オンラインによる効果的な産痛緩和演習	III		
	C.相談・教育活動の技術	a	コミュニケーション					
		b	カウンセリング					
	D.相談・教育の方法	a	個別相談					
		b	集団教育					
c		家庭訪問						
d		電話相談						
e		仲間づくり						
f		ピアサポート						
g		討議法、グループワーク						
h	双方向教育							
<b>目標Ⅱ. 女性のライフサイクル各期における相談・教育活動の実際について基本的な理解を問う。</b>								
2.女性のライフサイクル各期における相談・教育活動の実際	A.思春期女性への相談・教育	a	月経に関する教育・相談(月経異常、月経随伴症状)					
		b	性教育(いのちの教育、生命誕生)					
	B.成人期女性への相談・教育	a	ライフプランを考慮した健康					
		b	家族計画、性生活					
		c	子宮頸がん検診					
		d	性感染症<STI>					
		e	不妊症、不育症					
		f	人工妊娠中絶					
	C.周産期にある女性や家族への相談・教育	a	出産準備教育	41	パートナーの準備性を把握する情報	II		
		b	両親学級					
		c	祖父母向け教育(孫育て教室)					
		d	育児に関する相談・教育					
		e	家庭訪問(妊婦訪問、新生児訪問)					
f		産後の生活、家族計画						
D.更年期・老年期女性への相談・教育	a	更年期障害、更年期症状						
	b	骨粗鬆症				37	骨密度低下予防の生活指導	II
	c	骨盤臓器脱、尿失禁				8	尿失禁の種類	I
<b>【助産診断・技術学Ⅱ】</b>								
<b>目標Ⅰ. 助産に必要な助産診断・技術について基本的な理解を問う。</b>								
1.助産診断	A.助産診断・助産ケアの過程	a	情報収集					
		b	助産診断					
		c	計画立案					
		d	実施					
		e	評価					
		f	記録					
	B.助産診断に関わる諸理論	a	適応理論					
		b	発達理論					
2.助産技術	A.妊娠経過の診断および妊婦健康診査に必要な技術	a	医療面接、情報収集、インフォームド・コンセント					
		b	視診					
		c	触診(乳房、腹部、Leopold<レオポルド>触診法)					
		d	計測診(身体計測、骨盤外計測、腹囲、子宮底長)					
		e	内診、双合診					
		f	間欠的胎児心拍数聴取					
		g	超音波断層法	37 -1.4	妊娠初期の経膈超音波検査内容	I		
		h	ノンストレステスト<NST>					
	B.分娩経過の診断・ケアに必要な技術	a	医療面接、情報収集、インフォームド・コンセント					
		b	視診					
		c	聴診(Doppler<ドブラ>法)					
		d	触診(Seitz<ザイツ>法、頤部法、後会陰触診法)					
		e	内診					
		f	間欠的胎児心拍数聴取					
g	分娩監視装置による連続モニタリング							
<b>目標Ⅱ. 妊娠期の助産診断及び支援について基本的な理解を問う。</b>								
A.妊娠の診断	A.妊娠の診断	a	医療面接、情報収集					
		b	性器に現れる妊娠徴候					
		c	性器外に現れる妊娠徴候					
		d	内診					
		e	免疫学的妊娠反応検査					
		f	超音波検査					
		g	分娩予定日の決定					
	B.妊娠経過の診断	a	身体所見					
		b	体格指数<BMI>、体重増加量					
		c	内診					
		d	血圧					
		e	血液検査					
		f	尿検査					
		g	マイネートラブル					
		h	既往歴、家族歴					
		i	妊娠・分娩歴、産科病歴、合併症					
		a	胎児推定体重					
		b	子宮底長、腹囲	9	医師への報告が必要な情報	II		

大項目	中項目	小項目	午前問題			午後問題			
			番号	出題テーマ	タキノミー	番号	出題テーマ	タキノミー	
3.妊娠期の助産診断	C.胎児の発育・健康状態の診断	c 胎位、胎向、胎勢							
		d 胎児心拍数の評価(間欠的胎児心拍数聴取、連続的胎児心拍数モニタリング)				45	正常のアセスメント	II	
		e 胎盤付着部位							
		f 胎児胎盤機能検査							
		g 羊水量の変化と羊水量の測定							
		h 母体栄養と胎児の発育							
		a 食事と栄養							
		b 睡眠、休息							
	D.日常生活行動の診断	c 活動、運動							
		d 排泄							
		e 清潔行動							
		f 性生活							
		a 年齢							
		b 経済状態							
	E.妊婦と家族の心理・社会的側面の診断	c 婚姻形態(パートナーとの関係)							
		d 家族関係(家族の意識と役割)							
		e 文化的背景(母性意識、母親役割、ソーシャルサポート)							
		f 妊娠の受容							
		g 情緒の変化							
		h 不安や問題への対処行動							
		i ボディイメージの変化							
j 日常生活行動の変化									
k 過去の出産体験									
a 食事と栄養									
b 排泄									
c 活動と運動									
d 休息と睡眠									
e 清潔と衣生活									
f 定期健康診査受診の推奨									
g マイナートラブルへの対処									
h 嗜好品									
i 性生活									
4.正常な経過にある妊婦への支援	A.妊娠期の生活に適應するための支援	a 母性健康管理指導事項連絡カード				35-4	連絡カードの記載	I	
		b 就業規則							
		c 労働時間							
		d 産前産後休業、育児休業、育児時間							
		a 妊婦の妊娠の受容							
		b 出産に対する不安				46	予定日超過の不安への対応	III	
		c 出産・育児準備							
		d 家族関係の形成							
		e 胎児に対する愛着形成							
	f 妊婦に対する家族の理解								
	g 社会資源の活用								
	5.正常な妊娠経過からの逸脱・産科合併症のある妊婦への支援	※ a~rの共通の中項目 A.病態 B.診断と治療 C.助産診断 D.助産ケア(健康教育、胎児管理、薬物治療の管理、早期発見、予防を含む)	a 妊娠悪阻						
			b 切迫流産・早産	36-2	やせ妊婦に出現しやすい異常	I			
			c 異所性妊娠						
			d 妊娠貧血	36-1	やせ妊婦に出現しやすい異常	I			
e 妊娠糖尿病									
f 頸管無力症									
g 妊娠高血圧症候群、妊娠高血圧腎症									
h 羊水量の異常									
i 絨毛膜羊膜炎							54	子宮内感染の診断	II
j 胎児発育不全<FGR>									
k 骨盤位									
l 前期破水									
m 常位胎盤早期剥離									
n 子宮内胎児死亡									
o 過期妊娠							47	過期妊娠のリスク説明	III
p 多胎妊娠							32-1	二卵性双胎の頻度と遺伝素因との関係	I
q 血液型不適合妊娠					32-3	妊娠高血圧症候群のリスク	I		
r 胎盤の位置異常(前置胎盤)									
6.母子感染のリスクのある妊婦への支援	※ a~nの共通の中項目 A.病態 B.診断と治療 C.助産診断 D.助産ケア(早期発見、予防を含む)	a サイトメガロウイルス							
		b ヒトパルボウイルスB19	27	胎児への影響	I				
		c B型肝炎ウイルス					28	出生後の新生児に対する母子感染予防	I
		d C型肝炎ウイルス							
		e ヒト免疫不全ウイルス<HIV>							
		f 成人T細胞白血病ウイルス-1型<HTLV-1>							
		g 単純ヘルペスウイルス							
		h 水痘ウイルス							
		i クラミジア							
		j トキソプラズマ							
		k 梅毒トレポネーマ	4	妊娠中の梅毒スクリーニング検査の説明	I				
		l B群溶連菌							
		m カンジダ							
		n ヒトパピローマウイルス<HPV>							
7.ハイリスク	A.愛着形成への支援	a 妊娠の受容が困難な妊婦							
		b 胎児との愛着形成困難							
		c 被虐待経験者							

目標Ⅲ. 正常な妊娠経過からの逸脱及びハイリスク状態にある妊婦への支援について基本的な理解を問う。

大項目	中項目	小項目	午前問題			午後問題			
			番号	出題テーマ	タキノミー	番号	出題テーマ	タキノミー	
状態にある妊婦と家族への支援	B.ハイリスク妊娠における心理的支援	a 若年妊娠	10	優先すべき情報収集の項目	I'				
		b 高年妊娠							
		c 未受診妊婦							
	C.喪失体験への支援	a 流産・胎内死亡を経験した女性							
b 帝王切開既往妊婦									
<b>目標Ⅳ. 分娩期の助産診断及び正常な経過にある産婦への支援について基本的な理解を問う。</b>									
8.分娩期の助産診断	A.分娩開始の予知の診断	a 自覚症状							
		b 子宮頸管成熟度				26	内診所見でのスコア	II	
		c 子宮収縮(前駆陣痛)							
	B.分娩開始の診断	a 陣痛発来							
		b 子宮頸管の変化、子宮口の開大							
	C.破水の診断	a 自覚症状							
		b 検査法							
		c 腔鏡診、内診							
		d 羊水の性状							
	D.分娩経過の診断	a 陣痛、腹圧					43	微弱陣痛の診断	II
		b 骨盤の大きさと形態							
		c 子宮頸管					9	熟化プロセス	I
		d 膣・会陰の伸展性							
		e 胎児の大きさ							
		f 胎位、胎向、胎勢、回旋					42	分娩第1期の胎位胎向	II
		g 胎児の下降度							
		h 胎児と骨盤の関係							
		i Friedman<フリードマン>の頸管開大曲線							
		j 児娩出時刻							
		k 分娩所要時間(第1期、第2期、第3期)							
		l 胎盤剥離徴候					10	アールフェルド徴候	I
		m 児娩出後の出血							
	n 胎盤・卵膜の娩出								
	o 軟産道の裂傷								
	p 出血量								
	E.胎児の健康状態の診断	a 胎児推定体重の算出							
		b 胎児の発育評価							
		c 胎児心拍数陣痛図							
		d 羊水の量・性状							
		e 胎盤・胎児の循環動態の評価							
f biophysical profile score<BPS>									
F.産婦の日常生活活動の診断	a 食事と栄養、排泄								
	b 休息と睡眠、活動								
G.産婦と家族の心理・社会的側面の診断	a 産婦の情動								
	b 産痛への対処行動								
	c 家族の支援状況								
9.正常な経過にある産婦への支援	A.分娩第1期の助産ケア	a 基本的欲求の充足							
		b 出産環境への配慮							
		c 家族とのコミュニケーション							
		d 産痛緩和							
		e 呼吸法、リラクゼーション					53	正常経過の観察	III
		f 分娩進行の促進							
		g 家族への支援							
	B.分娩第2期・分娩第3期の助産ケア	a 基本的欲求の充足							
		b 呼吸法、リラクゼーション							
		c 必要時の努責の誘導							
	C.分娩後2時間までの助産ケア	d 出血量に応じた体位の調整							
		a 出血・子宮復古状態の観察							
		b 基本的欲求の充足	12	食事・水分摂取の支援	III				
c 早期母子接触と実施時の留意点									
d 母子と家族との対面									
10.分娩の介助	A.分娩介助の原理と基本	a 分娩時の姿勢による分娩介助							
		b 分娩体位による特徴							
		c 分娩機転							
		d 呼吸法、リラクゼーション							
		e 努責の誘導					41	無痛分娩時の努責指導	III
		f 産婦の主体性を尊重したケア							
	B.分娩介助時の技術	a 肛門圧迫・保護							
		b 会陰保護							
		c 児頭娩出							
		d 肩甲娩出							
		e 軀幹娩出							
		f 胎盤娩出							
		g 臍帯切断、臍処置							
C.胎盤・胎児付属物の検査	a 観察項目と実施方法								
<b>目標Ⅴ. 正常な分娩経過からの逸脱及びハイリスク状態にある産婦への支援について基本的な理解を問う。</b>									
11.正常な分娩経過からの逸脱、異常分娩時の産婦への支援	※ a~mの共通の中項目 A. 病態、診断と治療 B. 助産ケア	a 娩出力の異常(分娩誘発・促進時の管理)	48 -2.5	胎児心拍数低下時の対応	III	44	微弱陣痛時の対応	III	
		b 産道の異常							
		c 胎位・胎勢の異常							
		d 進入・回旋の異常							
		e 前期破水							
		f 遷延分娩							
		g 肩甲難産	40 -2.5	分娩介助時の対応	III				
		h 弛緩出血							

大項目	中項目	小項目	午前問題			午後問題		
			番号	出題テーマ	タキソミー	番号	出題テーマ	タキソミー
産婦への支援	(早期発見、予防を含む)	i 子宮破裂	11	子宮破裂の診断	II			
		j 子宮内反症、頸管・腔・会陰裂傷	28	頸管裂傷時の対応	III			
		k 子癇	49 -3.4	子癇発作出現時の対応	III			
		l 羊水塞栓						
		m 播種性血管内凝固症候群<DIC>、産科DIC						
12.胎児及び胎児付属物異常がある産婦への支援	※ a~dの共通の中項目 A. 病態、診断と治療 B. 助産ケア(早期発見、予防を含む)	a 胎児機能不全						
		b 胎児付属物の異常						
		c 多胎						
		d 形態異常						
13.産科手術および産科的医療処置が必要な産婦への支援	※ a~mの共通の中項目 A. 適応、準備と方法 B. 助産ケア	a 会陰切開術						
		b 会陰縫合術						
		c 産科麻酔(硬膜外麻酔)				39	胎児一過性徐脈出現時の初期対応	III
		d 腹式帝王切開術				40	痛みスケールによる産痛評価	III
		e 分娩誘発・促進	47	産婦への前処置の説明	III			
		f 子宮底圧迫法						
		g 骨盤位牽出術						
		h 吸引遂娩術						
		i 鉗子遂娩術						
		j 胎盤圧出法、用手剥離						
		k 子宮摘出術						
		l 子宮腔内タンポナーデ						
		m 動脈塞栓術による止血<IVR: Interventionalradiology>						
目標VI. 助産に必要な緊急時・搬送時の対応について基本的な理解を問う。								
14.緊急時・搬送時の支援	A. 応急処置	a 使用物品と薬剤						
		b 止血法						
		c 会陰裂傷縫合術						
		d 母体の蘇生法						
		e 出血性ショック時の処置						
		f 非出血性ショック時の処置				27	ショックインデックス異常時の対応	III
		g 自動体外式除細動器<AED> 異常出血に対する処置(妊娠前半期、妊娠後半期、分娩時、播種性血管内凝固症候群<DIC>、産科DIC、産科危機的出血の診断)						
	B. 緊急時の対応	a 妊産褥婦への説明と同意						
		b 妊産褥婦の心理的支援						
		c 家族への心理的支援						
	C. 搬送時の対応	a 母体搬送の適応と対応						
		b 新生児搬送の適応と対応						
		c 多職種・多機関の協働・連携						
d 周産期医療体制								
目標VII. 産褥期の助産診断及び支援についての基本的な理解を問う。								
15.産褥期の助産診断	A. 産褥経過の診断	a 身体所見						
		b 子宮と付属器						
		c 腔、外陰、肛門						
		d 血液検査						
		e 尿検査						
		f 不快症状						
		g 妊娠・分娩歴、産科病歴、合併症						
	B. 日常生活行動の診断	a 栄養と食事	29	授乳中の1日の栄養付加量	II			
		b 睡眠、休息						
		c 活動、運動						
		d 排泄						
		e 清潔行動						
		f 日常生活への適応						
		g 性生活						
	C. 褥婦と家族の心理・社会的側面の診断	a 年齢						
		b 経済状態						
		c 婚姻形態						
		d 家族関係						
		e 文化的背景						
		f 出産体験の受容						
		g 母性、父性、親性の発達過程						
		h 親役割の獲得						
	D. 育児能力の診断	i 家族機能の変化、家族の役割獲得						
		j 居住地域の育児環境						
		k マタニティーブルー						
		l 産後うつ病						
		a 育児行動の文化的背景						
b 褥婦の心理に影響を及ぼす要因								
E. 母乳育児に関する診断	c 児の受容							
	d 子への愛着形成							
	e 育児技術の習得							
	f 育児不安と対処行動							
A. 産褥期の生活への適応および退行性変化促進への支援	a 乳房の変化							
	b 乳汁分泌量の変化	13	オートクリンコントロールの機序	I'				
	c 児の哺乳行動、哺乳サイン、吸着、吸啜							
	d 授乳技術とセルフケア能力							
	a 栄養と食生活							
b 排泄								
c 睡眠、休息、生活リズム								
d 活動、運動、産褥体操、日常生活の行動拡大								
e 身体の清潔、外陰部の清潔								



大項目	中項目	小項目	午前問題			午後問題			
			番号	出題テーマ	タキソミー	番号	出題テーマ	タキソミー	
16.正常経過にある褥婦と家族への支援	A. 援	f	子宮底輪状マッサージ法						
		g	性生活						
		a	母乳育児に関する意識						
	B. 母乳育児への支援	b	母乳分泌促進法・抑制法						
		c	哺乳の評価						
		d	乳房のセルフケア						
		e	乳房トラブルの予防と対処法						
		f	母乳育児のための社会資源						
		g	母乳代用品の安全性						
	C. 育児行動獲得への支援	a	母親・パートナー(配偶者)の役割獲得						
		b	愛着形成促進						
		c	育児技術の取得						
		d	育児環境の調整						
e		子どもがいる生活への調整							
D. 褥婦と家族への心理・社会的支援	f	家族関係の調整							
	a	産婦・家族の分娩体験の想起				17	母子愛着形成促進のための支援	I'	
	b	出生に関わる届出の支援							
		c	職場復帰への支援						
<b>目標Ⅷ. 正常な産褥経過からの逸脱及びハイリスク状態にある褥婦への支援について基本的な理解を問う。</b>									
17.不快症状の緩和への支援	※ a~dの共通の中項目 A. 病態、診断、治療 B. 助産ケア(早期発見、予防を含む)	a	後陣痛						
		b	会陰部疼痛						
		c	脱肛・痔核						
		d	排尿・排便障害						
18.正常な産褥経過からの逸脱・産科的異常のある褥婦への支援	※ a~iの共通の中項目 A. 病態、診断、治療 B. 助産ケア(早期発見、予防を含む)	a	産褥早期出血						
		b	産褥晚期出血						
		c	子宮復古不全						
		d	産褥熱						
		e	恥骨結合離開				11	疼痛緩和の支援	III
		f	静脈瘤、血栓性静脈炎						
		g	深部静脈血栓症、肺塞栓症						
		h	感染症						
		i	妊娠高血圧症候群後遺症						
19.乳房の異常がある褥婦への支援	※ a~bの共通の中項目 A. 病態、診断、治療 B. 助産ケア(早期発見、予防を含む)	a	乳頭損傷						
		b	乳腺炎						
20.特別な母乳育児支援を必要とする褥婦への支援	※ a~cの共通の中項目 A. 対象の理解 B. 助産ケア	a	医学的適応により人工乳の補足が必要な児	39-2	HIV感染時の対応	I			
		b	乳癌の合併	39-1	適切な人工乳の推奨	I			
		c	成人T細胞白血病ウイルス-1型<HTLV-1>キャリア						
21.特別な育児支援を必要とする褥婦への支援	※ a~fの共通の中項目 A. 対象の理解 B. 助産ケア	a	多胎出産						
		b	不妊治療後の出産						
		c	障害児						
		d	予後不良児						
		e	在留外国人家庭						
		f	ひとり親家庭				12	若年妊産婦に対する退院前からの市町村連携	III
22.心理的リスクがある褥婦への支援	※ a~dの共通の中項目 A. 病態、診断、治療 B. 助産ケア(早期発見、予防を含む)	a	産後うつ病						
		b	産褥精神病						
		c	帝王切開術後						
		d	流産・早産・死産経験						
<b>目標Ⅸ. 妊娠から産褥期における合併症がある妊産褥婦への支援について基本的な理解を問う。</b>									
23.合併症がある妊産褥婦への支援	※ a~eの共通の中項目 A. 病態、診断、治療 B. 助産ケア(早期発見、予防を含む)	a	心疾患	30	ファロー四徴症既往妊婦への対応	III			
		b	腎疾患						
		c	甲状腺疾患						
		d	糖尿病						
		e	子宮筋腫						
<b>目標Ⅹ. 新生児期の助産診断及び支援について基本的な理解を問う。</b>									
24.出生後24時間以内の新生児の助産診断	A.胎外環境への適応と成長・成熟	a	Apgar<アプガー>スコア						
		b	出生直後の状態						
		c	呼吸の確立						
		d	Silverman<シルバーマン>スコア						
		e	全身の状態						
		f	バイタルサイン						
		g	身体計測値						
	B.正常からの逸脱の診断	h	成熟度の判定(Dubowitz法)				24	成熟度が高い所見	I
		a	新生児仮死						
		b	黄疸						
25.出生後24時間以降の新生児の助産診断	A.胎外環境への適応と成長・成熟	c	胎内環境と新生児への影響の評価						
		d	外表奇形、特異な顔貌	31	染色体異常児疑いの診断	I'			
		a	胎外環境への適応状態						
		b	分娩侵襲からの回復						
		c	哺乳				16	不適切な哺乳間隔	II
B.正常からの逸脱の診断	d	消化と排泄							
	e	生理的体重減少							
	a	黄疸	25	生理的黄疸の顕著な時期	I				
		b	原始反射						
		c	臍帯出血、臍帯の脱落						



大項目	中項目	小項目	午前問題			午後問題			
			番号	出題テーマ	タキソミー	番号	出題テーマ	タキソミー	
	逃脫の診断	d 新生児聴覚スクリーニング							
		e 先天性代謝異常検査	38 -2.4	日本での対象疾患	I				
26. 出生後24時間以内の新生児への支援	A. 胎外環境への適応への支援	a 胎外環境への適応の促進							
		b 保温							
	B. 成長・発達への支援	a 母子接触							
		b 哺乳							
		c 排泄							
	C. 予防の支援	a 感染予防							
		b 点眼							
c 安全確保									
		d 与薬(ビタミンK2シロップ)				13	K2シロップの用量	I	
27. 出生後24時間以降の新生児への支援	A. 成長・発達への支援	a 栄養と授乳							
		b 保温と環境温度の調整	15	中性温度環境	I				
	B. 清潔への支援	a 保清、沐浴					14	ドライテクニック法の特徴	I'
		b 感染予防							
	C. 成長・発達及び愛着形成への支援	a 母子同室中のケア							
		b 母子愛着形成促進のためのケア							
<b>目標XI. 新生児の正常からの逸脱及び異常な症状・状態・疾患がある新生児と家族への支援について基本的な理解を問う。</b>									
28. 新生児の正常からの逸脱、および異常な症状・状態への支援	※ a~oの共通の中項目 A. 病態、診断、治療 B. 助産ケア(早期発見、予防を含む)	a 呼吸障害				34 -3.5	異常呼吸時の対応	III	
		b 無呼吸発作							
		c チアノーゼ	14	体幹チアノーゼの診断	II				
		d 嘔吐					15	生理的な嘔吐との判別	I'
		e 腹部膨満	44 -1.2	胃管挿入方法	I'				
		f 吐血・下血							
		g けいれん							
		h 麻痺							
		i 発熱							
		j 低体温							
		k 黄疸							
		l 頭血腫							
		m 帽状腱膜下出血							
		n 心雑音							
		o なんとなく元気がない<not doing well>							
29. 治療を必要とする新生児と家族への支援	※ a~eの共通の中項目 A. 適応、準備と方法 B. 助産ケア	a 呼吸障害(酸素療法、人工呼吸療法)							
		b 光線療法	46-1	児の身体への影響の説明	II				
			46-2	目的の説明	II				
		c 経管栄養							
		d 輸液管理							
e 新生児蘇生法									
30. 疾患がある新生児と家族への支援	※ a~kの共通の中項目 A. 病態、診断、治療 B. 助産ケア	a 新生児低血糖症	16	低血糖症状の増悪所見	I				
		b 新生児一過性多呼吸<TTN>							
		c 胎便吸引症候群<MAS>							
		d 気胸、縦隔気腫	45	出生直後の診断	II				
		e 高ビリルビン血症							
		f 新生児ビタミンK欠乏症							
		g 新生児皮膚疾患(中毒疹、おむつ皮膚炎)							
		h 新生児眼疾患(鼻涙管狭窄)							
		i 外表奇形							
		j 分娩外傷(鎖骨骨折、上腕神経叢麻痺)	32	診断のための原始反射	II				
		k 感染症							
<b>目標XII. 乳幼児の正常発達・発育経過を判断し、それらを促進する支援について基本的な理解を問う。</b>									
31. 正常な経過にある乳幼児への支援	A. 乳幼児の助産診断	a 身体所見、発育の評価	50	股関節開排制限の診断	II				
		b 発達診断学的診察							
		c 視覚検査							
	B. 乳幼児の発達を促進する支援	a 栄養							
		b 遊び							
		c 生活習慣・生活リズムの確立	51	同胞がいる児をもつ母親への支援	III				
		d 情緒の発達							
	C. 乳幼児の社会性を促進する支援	a 家庭環境との関連							
		b 社会生活のマナー							
		c 自立を促す支援							
		d 人間関係の形成							
	D. 乳幼児に起こりやすい事故の予防と対策	a 窒息	52	同胞との関連で起こりやすい事故	II				
		b 溺水							
		c 誤飲							
		d 交通事故							
e 転落									
E. 乳幼児の疾病予防への支援	a 予防接種					25	1ヶ月健康診査時の保健指導内容	I'	
	b 歯・口腔の衛生								
<b>目標XIII. 乳幼児に起こる主な疾患及び支援について基本的な理解を問う。</b>									
32. 乳幼児の疾患と支援	A. 乳幼児によくみられる感染症の病態・診断・治療と支援	a 突発性発疹							
		b 百日咳、水痘、流行性耳下腺炎	33	百日咳の感染経路	I				
		c RSウイルス感染症(細気管支炎)							
		d カンジダ症、鶯口瘡							
		e ブドウ球菌性熱傷様皮膚症候群<SSSS>							
		f 乳幼児下痢症(ロタウイルス、ノロウイルス)							

大項目	中項目	小項目	午前問題			午後問題				
			番号	出題テーマ	タキソミー	番号	出題テーマ	タキソミー		
B.乳幼児の発達上の問題	a	染色体異常(21トリソミー)								
		b	甲状腺機能低下症(クレチン症)							
		c	被虐待児症候群							
	C.乳幼児突然死症候群<SIDS>	a	リスク因子							
		b	予防法と指導							
<b>目標XIV. 低出生体重児・早産児の特徴や疾患及び支援について基本的な理解を問う。</b>										
33.低出生体重児・早産児の特徴と疾患	A.低出生体重児・早産児の分類	a	出生体重による分類							
		b	在胎週数による分類							
		c	在胎週数と出生体重による分類							
	B.低出生体重児・早産児の特徴	a	外観							
		b	循環器系							
		c	血液							
		d	免疫系							
		e	呼吸器系							
		f	消化器系、代謝系							
		g	泌尿器系							
		h	ビリルビン代謝							
		i	体温調節							
	C.低出生体重児・早産児の疾患の病態・診断	a	呼吸窮迫症候群<RDS>							
		b	無呼吸発作				49	鑑別すべき疾患	II	
		c	未熟児動脈管開存症							
		d	未熟児網膜症							
		e	脳室内出血							
		f	脳室周囲白質軟化症							
		g	核黄疸							
		h	壊死性腸炎							
		i	敗血症、髄膜炎							
		j	未熟児貧血							
		k	未熟児骨減少症<未熟児くる病>							
	l	低血糖症								
m	低カルシウム血症									
n	低体温症					48	早産児の低体温の診断	II		
D.低出生体重児・早産児の予後・経過	a	死亡率								
	b	成長・発達								
	c	後遺症								
34.低出生体重児・早産児への支援	A.異常の早期発見、予防のための支援	a	体温管理と体温調節のケア							
		b	呼吸管理							
		c	皮膚のケア							
		d	水分・電解質・血糖管理							
		e	栄養管理と授乳					55	母乳の壊死性腸炎予防効果の説明	III
		f	感染予防							
	B.発達のための支援(ディベロップメンタルケア)	a	ディベロップメンタルケアの目的と対象							
		b	ディベロップメンタルケアの内容(ポジショニング、ハンドリング、早期母子接触、タッチケア)					50	適切なポジショニングの方法	II
		c	家族への支援(哺乳支援、ファミリーケア)							
<b>【地域母子保健】</b>										
<b>目標I. 母子保健の動向について基本的な理解を問う。</b>										
1.地域母子保健の基本	A.母子保健の概念	a	母子保健の変遷							
		b	地域の特性と母子保健							
	B.母子の健康に関わる因子	a	社会環境、生活環境、住環境							
		b	生活行動							
		c	生活様式							
		d	家族、地域							
2.母子保健の動向と課題	A.統計にみる母子保健の動向	a	出生数、出生率							
		b	合計特殊出生率							
		c	妊産婦死亡							
		d	自然流産、人工流産、死産							
		e	周産期死亡							
		f	新生児死亡	17	平成30年の早期新生児死亡率	I				
		g	乳児死亡、幼児死亡	1	SDGs目標3の達成基準	I				
	B.母子保健に関する課題	h	女性の就業率							
		i	人工妊娠中絶							
		a	少子化							
		b	育児支援の必要性							
c	経済格差、医療の地域格差									
d	家族形態の多様化									
e	在留外国人、グローバル化									
<b>目標II. 母子保健活動及び助産業務を行う上で必要な母子保健行政と母子保健制度・施策について基本的な理解を問う。</b>										
3.母子保健行政の仕組み	A.母子保健行政の仕組み	a	母子保健行政の動向							
		b	母子保健行政における国・都道府県・市町村の役割							
		c	母子保健行政の財源							
	B.母子保健に関わる法律	a	母子及び父子並びに寡婦福祉法							
		b	児童虐待の防止等に関する法律	18	保護者の面会制限の規定	I				
		c	雇用の分野における男女の均等な機会及び待遇の確保等に関する法律<男女雇用機会均等法>							
		d	育児休業、介護休業等育児又は家族介護を行う労働者の福祉に関する法律<育児・介護休業法>					22	女性の育児休業取得率	I'
		e								
	C.母子保健に関わる制度	a	健康診査							
		b	保健指導							
		c	療養支援							
		d	医療対策							
e	母子健康手帳									

大項目	中項目	小項目	午前問題			午後問題		
			番号	出題テーマ	タキソミー	番号	出題テーマ	タキソミー
行政の体系	D.主な母子保健施策	f 予防接種						
		a 健やか親子21(第2次)				19	高校生を対象とした健康教育内容	I'
		b 次世代育成支援対策						
		c 少子化対策						
		d 妊産婦のための食生活指針						
		e 授乳・離乳の支援						
		f 母子感染予防(B型肝炎ウイルス、成人T細胞白血球ウイルス-1型<HTLV-1>)						
		g 子どもの事故						
		h 妊娠高血圧症候群等療養支援						
		i 特定不妊治療費助成事業	54	顕微授精の医療費助成の説明	II			
		j 母子自立支援、貧困対策、ひとり親家庭等日常生活支援事業						
k 産前・産後ケア事業								
<b>目標Ⅲ. 助産師が行う地域母子保健活動の実際について基本的な理解を問う。</b>								
4.地域母子保健活動の実際	A.地域の様々な場における助産師の役割	a 助産所						
		b 診療所・病院						
		c 周産期医療センター						
		d 市町村保健センター						
		e 保健所						
		f 子育て世代(母子健康)包括支援センター						
		g 職能団体						
	B.地域における助産師の活動と留意点	a 児童虐待予防						
		b 育児支援(電話相談、ベビーマッサージ)						
		c 産後ケア事業						
		d 妊産婦の訪問						
		e 新生児訪問指導						
		f 出産準備教育						
		g メンタルヘルスケア						
	C.母子保健活動における連携・協働	a 多職種連携						
b 民間組織・自助グループ<セルフヘルプグループ>との連携								
c 地域包括ケアシステム								
<b>【助産管理】</b>								
<b>目標Ⅰ. 助産管理の基本、助産業務管理、助産所の管理・運営、周産期医療とその安全について基本的な理解を問う。</b>								
1.助産管理の基本と助産業務管理	A.助産管理の基本	a 助産業務管理の特性						
		b 組織における助産師の役割と助産管理体制						
		c 助産の質の管理と保証						
	B.助産業務管理の過程	a 管理目標の設定						
		b 業務の分析						
		c 業務計画の策定						
		d 業務の評価						
	C.助産業務管理の実際	a 人事・物品・経済・情報・時間の管理						
		b 人材育成(クリニカルラダー)						
		c 看護体制						
		d 文書・記録の管理と開示						
		e 診療情報提供						
		f 他部門・他機関との連携、協調						
		g 地域との連携、ネットワーク						
	D.場に応じた助産業務管理の特徴	a 周産期棟、混合病棟の管理						
b 外来の管理								
c 院内助産・助産外来の管理								
d 助産所の管理								
E.助産業務管理と医療経済	a 医療保険制度							
	b 診療報酬							
	c 分娩費用、健康診査に係わる費用				20	妊婦健康診査公費助成の範囲	I	
d 出産育児一時金								
2.助産師及び助産師の業務に関わる法と責任	A.助産師の業務に関わる関係法規	a 保健師助産師看護師法	19	臍帯切断の規定	I			
		b 医療法						
		c 医薬品、医療機器等の品質、有効性及び安全性の確保等に関する法律<医薬品医療機器等法、旧薬事法>(処方せん医薬品等取り扱い)						
		d 母子保健法						
		e 母体保護法						
		f 児童福祉法						
		g 地域保健法						
	B.届出に関わる関係法規	a 戸籍法(出生届、婚姻届)	20	出生届の記入項目	I			
		b 刑法(秘密漏示の禁止、墮胎の禁止、虚偽私文書作成の禁止)						
		c 保健師助産師看護師法(出生証明書、死産証書、死胎検案書)						
	C.女性の支援に関わる関係法規	a 配偶者からの暴力の防止及び被害者の保護等に関する法律<DV防止法>						
		b 育児休業、介護休業等育児又は家族介護を行う労働者の福祉に関する法律<育児・介護休業法>	21	育児・介護休業の規定項目	I			
		c 性同一性障害者の性別の取扱いの特例に関する法律						
		d 母子及び父子並びに寡婦福祉法						
		e 健康保険法、国民健康保険法(出産育児一時金の支給)						
f 労働基準法								
g 雇用の分野における男女の均等な機会及び待遇の確保等に関する法律<男女雇用機会均等法>								



大項目	中項目	小項目	午前問題			午後問題		
			番号	出題テーマ	タキノミー	番号	出題テーマ	タキノミー
	D.子どもの支援に関わる関係法規	h 男女共同参画社会基本法						
		i 生活保護法(出産扶助)	55	経済的問題を抱えるシングル妊婦への対応	Ⅲ			
		a 児童虐待の防止等に関する法律						
	E.助産師の法的義務	b 少子化社会対策基本法						
		c 障害者の日常生活及び社会生活を総合的に支援するための法律<障害者総合支援法>						
		a 応召義務						
		b 出生証明書の交付				35-2	電車内での出産介助時の交付	I'
		c 死産証書および死胎検案書の交付						
		d 異常死産児の届出				21	異常死産児の届出先	I
		e 助産録の記録と保存						
3.助産所の管理・運営	A.関係法規に基づく管理	f 就業(業務従事者届)の届出						
		g 守秘義務						
		a 助産所の定義						
		b 助産所の開設者と管理者						
		c 助産所の管理者の義務						
	B.助産所の管理・運営の基本	d 助産所の構造と設備						
		e 助産所の広告						
		a 嘱託医および嘱託医療機関との連携・協働						
		b 救急時の搬送と搬送基準				33-2.3	分娩時の母体搬送の適応基準	I'
		c 環境・設備・備品の整備						
4.周産期医療における連携・協働	A.チーム医療における連携	d 地域医療、行政との連携・協働						
		e 助産所での分娩の適応基準						
		f 自宅分娩の適応と可否の判断				51	初回妊婦健診時の対応	Ⅲ
5.助産師が行う医療安全と危機管理	A.安全対策	52 分娩介助にあたる複数の人員確保の確認						Ⅱ
		a 周産期医療体制						
		b 周産期医療におけるチーム医療、多職種の連携・協働						
		c 地域連携とオープンシステム						
	B.医療事故防止対策	a リスクマネジメント						
		b 感染予防・管理、院内感染、薬剤耐性<AMR>	22	助産ケア時の標準予防策	I'			
		c 傷害等の対応と損害賠償保険						
		d 産科医療補償制度						
	C.災害対策・支援活動	a 医療事故防止対策						
		b 医療事故の原因						
c 救急体制								
d 法的責務								
	a 平時の災害への備えと訓練							
		b 発災時の初期対応						
	c 被災した妊産婦・母子・女性の特徴と支援	23	大規模地震時の妊婦のための初期対応	Ⅲ				
		d 妊産婦・母子・女性への災害に対する教育						